

## 経営理念

当行は創立以来、一貫して「地域社会の繁栄に奉仕すること」を経営理念として掲げてまいりました。この経営理念のもと、豊かな地域社会の創造と地元産業の発展に貢献することを当行の基本的な使命とし、地元京都における最大のリテールバンクとして、地域社会の皆さまに質の高い金融サービスを提供し、より一層信頼を深めていただけるよう努めております。

金融機関を取り巻く経営環境は、一層厳しさを増しつつありますが、今後とも地域の皆さまから最も信頼され、地元で最も存在感のある銀行となるため、当行の社会的使命の遂行に努めてまいります。

## プロフィール

〈平成28年9月30日現在〉

名 称／株式会社 京都銀行／The Bank of Kyoto, Ltd.  
本店所在地／京都市下京区烏丸通松原上る薬師前町700番地  
創 立／昭和16年10月  
総 資 産／8兆4,081億円  
預金・譲渡性預金／7兆3,419億円  
貸 出 金／4兆7,436億円  
資 本 金／421億円  
発行済株式総数／379,203千株  
格 付 け／A+（株式会社格付投資情報センター）  
平成28年11月2日現在 A（スタンダード&プアーズ）  
従 業 員 数／3,573人  
拠 点 数／491か所  
※本支店165・出張所5・店舗外ATM317・海外駐在員事務所4（香港・上海・大連・バンコク）  
※上記のほか、株式会社セブン銀行との提携による共同の店舗外ATM21,270か所

## 京都銀行では積極的な情報開示 (ディスクロージャー)を推進しています。

本誌は銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料（業務及び財産の状況に関する説明書類）です。

なお、平成28年12月発行のミニディスクロージャー誌2016年9月中間期「京都銀行からみなさまへ」では、当行の各種取組みや業績ハイライトなどを掲載しているほか、「中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況」については、より詳細な内容で分かりやすくご紹介しておりますので、あわせてご覧ください。

## CONTENTS

### 事業の概況

経営環境と業績	1
主要な経営指標の推移	2

### 業績および財務データ

中間連結財務諸表	3
セグメント情報等	11
中間財務諸表	12
損益の状況	17
預金業務	21
貸出業務	23
証券業務	27
有価証券関係情報	29
デリバティブ取引情報	31
国際業務	33
その他	33
株式・資本の状況	33

### 中小企業の経営の改善及び地域の 活性化のための取組みの状況

中小企業の経営支援に関する取組方針態勢整備	34
中小企業の経営支援に関する取組状況	35
地域の活性化に関する取組状況	38

### 金融仲介機能の充実に向けた活動 (金融仲介機能のベンチマーク)

事業性評価の取組み	40
ライフステージに応じたソリューション提供	41
事業再生等への支援	41

### 自己資本の充実の状況

〈自己資本の構成に関する開示事項〉	42
〈定量的な開示事項〉	44
自己資本の充実度	44
信用リスク	46
信用リスク削減手法	57
派生商品取引及び 長期決済期間取引の取引相手のリスク	57
証券化エクスポージャー	58
マーケットリスク	58
銀行勘定における出資等又は 株式等エクスポージャー	59
信用リスク・アセットのみなし計算が 適用されるエクスポージャー	60
銀行勘定における金利リスク	60

索引	61
----	----